

公益社団法人 大阪府臨床検査技師会
平成 26 年度 第 4 回（7 月）理事会 議事録

- ◇ 日 時： 平成 26 年 7 月 10 日（木）午後 6 時 30 分～7 時 40 分
- ◇ 会 場： 公益社団法人 大阪府臨床検査技師会事務所
- ◇ 出席者： 運天、竹浦、吉本、高田、荒木、田畑、井戸田、山田、宮野、酒井、栗本、山西、杉山
増田、久保田、後藤、栗本監事、柴監事、事務（岩崎）
- ◇ 欠席者： 清水、出野
- ◇ 議 長： 運天

【 討議内容 】

I. 行動報告（6 月分）

別紙参照

II. 経過報告

1. 日臨技

- ・ 支部学術部門員の選考基準を以下の通り決定した。
 - ①生涯教育研修制度履修者であること。
 - ②当会もしくは支部学会において筆頭発表があること。
 - ③都道府県技師会での学術経験が 5 年以上あること。
- ・ 近畿支部医学検査学会担当順番は、平成 27 年度（大阪府）、平成 28 年度（和歌山県）、平成 29 年度（京都府）となる。

2. 事務局

〈総務部〉6 月 18 日（水）に部会を開催した。

- ・ 大臨技事業の表示区分について検討した。
- ・ 平成 27 年度日臨技近畿支部医学検査学会における担当業務について検討した。
- ・ WEB 担当について検討した。
- ・ 会計マニュアルの再考について検討した。
- ・ 大臨技ニュース 6 月号を発行した。
- ・ 大臨技ホームページを更新した。

〈会計部〉6 月 18 日（水）に部会を開催した。

- ・ 5 月度収支決算書を作成した。
- ・ 事務員 6 月分給与及び夏季賞与を送金した。

〈渉外部〉6 月 17 日（火）に部会を開催した。

- ・ 手話講演会（7 月 5 日、大阪医療技術学園専門学校）について進捗状況の説明を行った。
- ・ 献血推進活動について進捗状況の説明を行った。
- ・ 平成 26 年度大放技・大臨技合同フォーラム第 1 回打合せ会（7 月 1 日）の討議内容について検討した。
- ・ 検査と健康展の説明を行った。

3. 事業局

〈情報組織部〉6 月 19 日（木）に部会を開催した。

- ・ 新入会員研修会（8月開催予定）広報の方法を検討した。
 - ・ 多職種合同チーム医療研修会（10月開催予定）の内容を検討した。
- 〈地区事業部〉6月19日（木）に部会を開催した。
- ・ 検査説明・相談ができる臨床検査技師講習会の企画について検討した。
開催日・場所等；10月25日・26日、ホテルNCB中之島センタービル 48名参加予定。
講師等について討議した。2名の講師が未定。
 - ・ マタニティカーニバル2014（6月28日・29日、インテックス大阪）について最終打合せを行った。
- 〈学部〉6月24日（火）に部会を開催した。
- ・ 平成27年度近畿支部医学検査学会特別企画（シンポジウム、教育講演会等）について検討した。
 - ・ 第9回大臨技教育セミナー当日の打合せを行った。

Ⅲ 他、報告

1. 大臨技事業の表示区分について（山田 理事）

大臨技事業の広報について、本年度より公益目的事業区分に合わせ以下のとおり表記することとした。

1) 公1事業

①府民公開講座

府民健康フォーラム、大臨技・大放技合同フォーラム、「看護の日」記念事業、健康展、マタニティカーニバル、乳がん（HIV含む）検診フォーラム等

2) 公2事業

①多職種公開講座

情報組織部チーム医療部門のセミナー、地域オープンセミナー

②各講習会・講演会

学部部門各種講習会・講演会、学部講演会、大臨技教育セミナー、手話講演会
「他職種公開講座」の表記は廃止する。

3) 他1事業

①自由集会・会員交流会・技師長会

北・中・南地区自由集会、会員交流会、新入会員研修会、技師長会、献血推進活動等

2. 平成26年度大放技・大臨技合同フォーラム打ち合わせ会について（増田 理事）

7月1日（火）に当会事務所において、平成26年度大放技・大臨技合同フォーラムの第1回打ち合わせ会を開催し、以下について決定した。

- ・ 開催日：平成27年1月31日（土）
- ・ 会場：大阪府医師協同組合会館8階ホール
- ・ テーマ：肝がんの診断と治療
- ・ 大臨技：検体検査、画像、病理について40分の講演（又は20分×2名）
- ・ 大放技：画像、CT、MRIについて40分の講演
- ・ 特別講演：肝がんの診断と治療について60分の講演（第一候補として近畿大学の工藤正俊教授に打診）
- ・ 今後のスケジュール

7月29日：第2回目打ち合わせ会開催（講師とテーマの決定）

11月4日：第3回目打ち合わせ会開催（講演者の講演内容の調整）

11月末日：抄録原稿締め切り

3. 近臨技OB会について（運天 会長）

第54回日臨技近畿支部医学検査学会の会期中である9月20日（土）に、各府県会長経験者および日臨技役員経験者の近畿臨床検査技師会OBを対象に「近畿臨床検査技師会OB会 組織運営会議」および親睦会を開催し、組織構成、規約等の検討、今後の会運営等について協議を行うこととなった。

4. 臨床検査技師の診療の補助として検体採取について（運天 会長）

今通常国会において可決されたことにより臨床検査技師等に関する法律の一部改正が行われ、平成27年4月から臨床検査技師が診療の補助として採血に加え、検体採取を行うことが出来ることとなった。

具体的な検体採取項目については、今後、厚生労働省令において定められることになるが、おおよその検体採取項目として、インフルエンザ等の検体採取、表在からの検体採取、肛門からのスワブでの検体採取が想定されている。

5. 大臨技賛助会員について（吉本 副会長）

平成26年度大臨技賛助会員が決定した。

今年度の賛助会員数は、昨年度73社から4社減の68社となった。

6. その他

1) 大阪府歯科医師会からの後援依頼について（吉本 副会長）

大阪府歯科医師会から「第35回全国歯科保健大会」（平成26年11月8日（土）、大阪国際交流センター）の後援依頼があり承認した。

2) 大阪府地域推進協議会について（運天 会長）

7月24日（木）に開催される平成26年度第1回大阪府地域推進協議会では、「平成27年度大阪府・大阪市の平成27年度予算編成に対する要望」等が協議されるが、当会からは、常務理事会メンバー6名が出席する。

3) 府民健康フォーラム打ち合わせ会について（増田 理事）

7月18日（金）に開催される平成26年度府民健康フォーラム打ち合わせ会に出席する。

4) 日本臨床検査技師連盟代表との会談について（運天 会長）

6月26日（木）に来阪された日本臨床検査技師連盟代表の宮島氏と組織の運営等について会談し、宮島代表からの要望である会員増加に向け努力することとした。

会員登録は、日本臨床検査技師連盟ホームページ（<http://www.jamt-renmei.org/>）より行う。

IV. 議 題

1. 大阪府への報告等について（柴 監事）

6月30日（月）に、大阪府への平成25年度事業報告等の電子申請が終了したとの報告に加え、今後の大阪府への事業報告に関して以下の提案があった。

- ・ 公益法人としての事業報告は、会員への報告、総会での承認、大阪府への提出並びに開示の順で行う。
- ・ 報告する事業内容と会の広報誌である大臨技ニュースへの掲載内容との整合性をとる。

- ・ 実施した事業について大臨技ニュースへの掲載に漏れないようにする。
- ・ 事業報告様式は、実施部局毎の表示ではなく、公 1、公 2、他 1 毎に纏めて表示するため、大臨技ニュースへの事業報告についても同様に纏めて記載することが望ましい。

以上の提案に対する対策として、担当部である総務部への説明を目的に、柴監事に 7 月 16 日(水)開催の総務・会計部会への出席を依頼した。

2. 近畿支部学会の学会長について (運天 会長)

平成 27 年度日臨技近畿支部医学検査学会の運営において、大臨技定款の規定上、来年度役員の選任が来年の 5 月に開催される平成 27 年度定時総会后となるが、これに伴う運営担当者の交代による学会運営への支障を考慮し、運天現会長が引き続き学会長を務めることとする提案があり、承認された。

3. 賛助会員からの広告依頼について (吉本 副会長)

賛助会員の関西アイエヌエスサービス株式会社より、全会員への保険加入書類一式の送付依頼があった。この対応について討議した結果、保険加入書類一式の送付については対応できないこととし、運天会長より他の様式での案内書送付を提案することとした。

4. 大阪府からの表彰対象者推薦依頼について (吉本 副会長)

1) 「平成 26 年度公衆衛生事業功労者に対する一般財団法人日本公衆衛生協会会長表彰」候補者の推薦について

当表彰候補者については、推薦期限が 7 月 11 日のため、今回は該当者無しとした。

2) 「第 43 回医療功労賞 (国内部門)」候補者の推薦について

当表彰候補者については、該当者がいる場合、HP 掲載案内を確認後、所定の書類を作成し、7 月末日までに吉本副会長に提出することとした。

5. その他

1) 役員候補者選出について (運天 会長)

次期役員の選出方法等について、7 月 16 日開催の総務・会計部会で検討後、次回の理事会で提案することとした。

2) 共催依頼について (井戸田 理事)

情報組織部 チーム医療部門 糖尿病療養指導部会より、「第 26 回糖尿病療養指導士講演会」(平成 27 年 2 月 11 日開催)における共催申請があり、承認した。

以上